

◆人口最少県からJリーグクラブ誕生を目指せ！ガイナレ鳥取！

ガイナレ鳥取は、日本フットボールリーグ（JFL）に所属し、平成二十年でのJリーグ昇格を目指しています。Jリーグ昇格には、JFL 4位以内、ホームゲーム平均三千人以上の集客、年間一億五千万円以上の収入確保など達成すべき参加条件があります。

一九八三年に鳥取教員団として発足。二〇〇一年にJFLに昇格し、今シーズンで七年目を迎えました。これまで、全国の強豪チームと戦いながら、小学生などを対象としたサッカー教室や昔ながらの遊びの普及など、地域に根ざした活動にも積極的に取り組んできました。

昨年十二月に運営主体となる株式会社SC鳥取を設立して、選手や指導体制の強化を図るとともに、本年二月にはチーム名を『ガイナレ鳥取』に改称し、Jリーグへの準加盟も承認されました。

今シーズンの開幕戦には過去最高の約三千八百人を集客、ファンクラブ会員も五月には四千人を突破するなど、県民の盛り上がりは着実に大きくなっています。

ガイナレの『がいな』は地元の方言で『大きな』という意味で、『大きくなれ』という願いが込められています。人口最少県からのJリーグクラブ誕生は、どこの地域でも可能なことを証明することとなり、Jリーグにとっても大きな意味を持つチャレンジです。

そのためには、まず第一にチーム自身が成績や収入確保などの目標を達成することが必要ですが、一方で県民、企業、行政による地域全体での支援も不可欠です。県ではこれまで庁舎内への応援コーナー設置、広報誌での活動紹介、活動費助成等を行ってきましたが、県民や企業と連携しながら、今後さらに必要となる支援を検討していくこととしています。